

2020年度(令和2年度)あるレインボーDuo谷塚駅前教室

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月15日

事業所名 あるレインボーDuo谷塚駅前教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1	0	集団と個別の部屋を分けている	騒音の対策を考えていく
	2	職員の配置数は適切である	5	2	0	なるべく連続して個別をもたないようにしている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2	1	段差はない	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1	0	毎週の会議、活動予定表による打ち合わせを行っている	会議で出た意見はすぐ実行するようにしている 個別指導に関しても、月の振り返りのフォーマットに記入してまとめていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	0	保護者の意見を共有し改善に繋げている	保護者の意見を会議で共有している
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2	1	会社HPで公表している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	3	0	実施している	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	2	1	会議で事例検討をおこなっている	次年度は交替で研修を行う予定
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0	定期的にアセスメントを実施し個別支援計画に繋げている	直接関わっているスタッフがモニタリング面談に参加している。作成した個別支援計画を会議で共有している
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	1	支援に必要な項目がわかるシートを使用している	標準化されたアセスメントシートを使用している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2	0	活動予定表をリーダーが作成し、チームで共有している	個別指導の立案、振り返りの共有ができるようにフォーマットを作成する
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	0	前日までに活動予定を掲示し、当日朝に細かい打ち合わせを行っている	午後のグループは1週間前に掲示することを徹底していく 個別指導は記録や情報交換を行い、課題の固定化を防いでいく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	4	0	体力の消耗や、集中できるかなど配慮している	長期休暇中は休みに入る前に児童と活動を相談。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0	個別支援、集団支援を組み合わせ支援を行っている	個別・集団それぞれの課題を情報共有しながら、さらに良い支援を行っていく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	1	前日までに活動予定を掲示し、当日朝に細かい打ち合わせを行っている	午後のグループは1週間前に掲示することを徹底していく
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	2	チーム内で振り返りを行い必要があれば会議にあげている	出来る限りの情報交換を行い共有し、打ち合わせ会議もやっている	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0	グループ活動記録、個別支援記録を必ずつけて共有できるようにしている	個別支援記録では担当の見立てや、保護者からの話しも細かく記録し次の支援に繋げていく	

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果(公表)

	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0	計画更新時、または、保護者相談の際に見直しを検討している	発達を理解し、先の想定をしながら計画の作成を行っているが、必要があれば随時見直しをしようと思う
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	2	0	4原則は意識できている	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1	1		サービス担当者会議の機会を設け、担当スタッフが意見交換できるように指導していく
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	2	1		学校との情報交換は行われていないが、必要性があれば行っていきたい
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	6	0		保護者が間に入っている情報共有しかしていないが、今後、主治医との連携ができればと思う
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	3	1		4月以降訪問予定
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	4	1		現状は非該当
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3	0	頻繁に情報交換をしている	今後も助言や、研修の機会を増やしていきたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	1	6	できていない	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	1	1		内容によっては参加も検討している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	1	0	連絡帳や送迎時のやりとりを通して日々共通理解を持てるようにしている	必要性のある時は随時面談も実施
保護者への説	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1	3		ペアトレーニングができるようなスキルを身に付けていきたい
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	2	0	契約時に重要事項説明書で必ず保護者で説明している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1	0	送迎の際のやりとりや、連絡帳でのやり取りに配慮しながら面談の機会を作っている	臨床心理士による相談の機会も増やしていきたい
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	1	6		要望により考えていきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0		苦情解決体制はあり、契約時に保護者にも説明しているが苦情等にはこれまで至っていない

2020年度(令和2年度)ああるレインボーDuo谷塚駅前教室

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果(公表)

明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	0	会報を発行し「ほっこりエピソード」などを伝えている	毎月、会報を発行していく 内容を検討していく
	35	個人情報に十分注意している	7	0	0	職員全員周知している	個人台帳、写真などの個人情報の取り扱いの研修を行い徹底を継続していく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0	児童への対処はしている	児童、保護者伝えるための言動を選択している。保護者に対しては、文章で伝えたり、くりかえし口頭で伝える配慮をしている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	3		今後検討していく
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0	0	作成して周知をしている	実際の訓練にマニュアルが生かされるように研修をしていきたい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	1	活動等で毎月行っている	集団での避難訓練は毎月行っているが、個別指導では時間の関係で出来ないことがあるので、時間を作っていく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	1	年度の初めには必ず研修実施	毎月の会議でも虐待について意識出来るようにしている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	4	1	口頭で説明をして同意をえているが、支援計画には記載していない	危険行動の制止のために身体に触れる行為などの可能性を具体的に十分に説明していきたい
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2	0	モニタリングで保護者に確認を必ず実施	該当者なし
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	0	毎月表にして必ず共有	ヒヤリハットを都度あげるようにしている

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。